



市長の海外出張について

このたび、市長がインド共和国3都市に下記のとおり出張しますので、お知らせします。

記

- 1 出張先 インド共和国 アーメダバード・デリー・ハイデラバード
- 2 出張期間 12月22日（日）～12月28日（土）
- 3 出張概要
 - ・人口減少による、IT人材不足等の課題を解決する手段としての高度外国人材の受け入れを促進させるため、インド工科大学ハイデラバード校との覚書締結。
 - ・アーメダバード市との経済及び観光等の交流を促進させるため、友好協定の締結。
 - ※アーメダバード市とは、友好協定締結に向けて調整を進めており、調整が整えば友好協定を締結予定。
 - ・現地日系関連企業等を訪問し、インド国内にて事業を成功させるためのプロセス等の調査の実施と意見交換。

4 内 容（予定）

12月23日（月）	・スズキモーターグジャラート社視察 ・国際金融技術都市（GIFT CITY）視察 等
12月24日（火）	・グジャラート州政府、アーメダバード市長表敬訪問 ・アーメダバード経営者協会訪問 等
12月25日（水）	・全日本空輸（株）インド総代表との意見交換
12月26日（木）	・インド工科大学ハイデラバード校との覚書締結式 ・スズキイノベーションセンター視察 等

※上記日程は、現時点での予定であり変更となる可能性があります。

- 5 同行者 ・浜松市議会議長
- 6 随行者 ・浜松市産業部長 ・産業部産業振興課雇用労政担当課長 ほか
- 7 その他

- ・本出張の一部は、静岡県インド訪問団と同一行程となります。
- ・静岡県については、グジャラート州と交流の促進、本市においては同州最大都市であるアーメダバード市と交流の促進のため、各分野にて連携を図っていく予定です。



参 考**<インド共和国概況>**

- 首都：ニューデリー（人口約 1,679 万人 ※2011 年インド国勢調査）
- 面積：328 万 7,469 km²（インド政府資料 ※係争地含む）
- 人口：14 億 1,717 万人（2022 年世銀資料）
- 民族：インド・アーリヤ族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
- 言語：連邦公用語はヒンディー語（他に公認の州言語が 21 言語）
- GDP 成長率：7.0%（2022 年度 ※世銀資料）
- 主要産業：農業、工業、IT 産業
- 日本企業の進出状況：スズキ(株)、本田技研工業(株)ほか 1,400 社
（2022 年在インド日本国大使館調査）

<アーメダバード市>

- グジャラート州最大都市
- 人口：約 600 万人
- 面積：505 km²
- 主要産業：農業、綿織物業

<インド工科大学ハイデラバード校>

- ・インドのテランガーナ州サンガレッディ地区のサンガレッディ近郊のカンディ村にある公立工科大学。
- ・2008 年に設立され、インドで最も急速に成長している高等教育機関の 1 つ。
- ・学生は約 2700 人で、学部は AI、医用生体工学、バイオテクノロジー、化学工学、気候変動、土木工学、コンピュータサイエンス&エンジニアリング、電子工学、工学科学、材料科学・冶金工学、機械・航空工学、化学、物理、数学、リベラルアーツ、デザイン、起業・経営
- ・国際協力機構（JICA）から技術・財政支援を受けて設立された経緯もあり、日系企業との交流も多く見られる。
- ・本市とは 2022 年 12 月の IITH への職員の訪問から交流が始まり、その翌月に、同校校長が来日し、市長との面談をするなど交流を深め、連携の可能性を模索してきた。

<問合せ先>

産業部産業振興課雇用労政担当

TEL 053-457-2115